

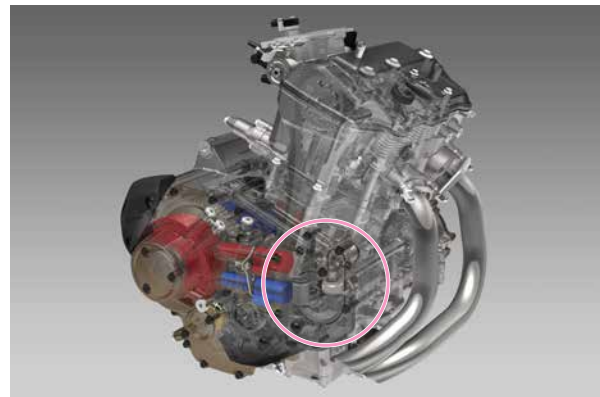
●ウォーターポンプ

ウォーターポンプは独創的なクラッチ室内配置構造を採用。これにより、ウォーターポンプをエンジンの外側に設置するためのボルト類やシリンダーのウォータージャケットに冷却水を送るためのウォーターホースが不要となり、エンジン外部の突起物を減少させることで、エンジンまわりをシンプル化しています。また、クラッチ室内配置構造の採用によって、DCTシステムの制御に必要な補器類をクラッチカバー内に集約することが可能となり、DCTタイプの軽量・コンパクト化を実現しました。これらを含めてライダーの求める機能性・デザイン性・軽量化などを具現化しました。〔特許出願中〕

■クラッチ室内配置構造ウォーターポンプ (MTタイプ)



■DCTエンジン クラッチ室内配置構造ウォーターポンプ (DCTタイプ)



●出力特性

ベンチマークとして、前モデル「XR750 Africa Twin」のスムーズで扱いやすい出力特性を踏襲しながら全域での出力向上を図り、オンロード走行からオフロード走行に至るまで、扱い易い特性としました。また、直列2気筒270度クランク、2軸1次バルンサー、2プラグ位相点火制御、最適吸排気仕様の設定など、低回転域から高回転域まで、高いトラクション性能と心地良いパルス感を実現しています。